Dream Bigger

Agilent Intuvo 9000 GC システム

ニーズに応える技術革新

真の変革をもたらす技術革新は、画期的なアイデアの実現にとどまらず、
これまでの常識を覆すような変化をお客様に提供するものだとアジレントは考えます。

アジレントは、常にユーザーニーズに応える技術革新を進めています。お客様に寄り添い、耳を傾け、分析ワークフローの課題を理解し、深い技術的専門知識を駆使しながら、課題解決に取り組んでいます。そのあらゆる段階において、アジレントの製品開発の目的は、お客様が求める機器の操作性、ラボの効率化、さらにはビジネスの成功にあります。

アジレントの長年の取り組みから生まれたのが、GC の技術革新をリードする新製品 Agilent Intuvo 9000 GC システムです。Intuvo は、GC の歴史に刻まれる、画期的な技術の結晶です。まったく新たな方法による GC を実現し、生産性向上への新たな道を切り開きます。

技術者の間ではガスクロマトグラフィーには、もう技術開発の余地がないという声もありました。

Intuvo を見れば、その可能性には終わりがないことをお分かりいただけるはずです。

アジレント GC の全てのモデルは、アジレントがこれまでに築いた揺るぎない分析技術と卓越した性能を基盤としています。Intuvo も例外ではありません。Intuvo は、高速ダイレクトヒーティング、フェラルフリーフィッティング、ガードチップリテンションギャップ技術、トリミング不要カラムなど、独自の革新技術を採用することで、今までの GC では考えられなかった操作性と性能を実現させました。

加熱と冷却: 分析時間を短縮

ダイレクトヒーティング技術により、GC は格段に高速に、より効率的になります。これまでの半分のスペースと従来の半分以下の消費電力で、分析時間を大幅に短縮することができます。

流路の完全性: 誰でも簡単操作

カラム取り付け時にフェラルを実験台から落としてしまい、イライラしたことはありませんか?接続部の絞め過ぎで生じたリークの対処にストレスを感じていませんか?Intuvo は、新開発のフェラルフリーのシールをサンプルガス流路中の全てのフィッティングに採用しています。Intuvo フローチップは、カチッとはめ込むだけの簡単操作で取り付け完了です。フェラルの操作に煩わされることはありません。

カラム性能: ガードチップでカラムを保護

Intuvo ガードチップリテンションギャップ技術とトリミング不要カラムが、カラムの保護に貢献します。ガードチップは、使い捨てで、1 分程度で交換できるチップです。このチップは Intuvo GC カラムのガードカラムとしての役割を果たします。これにより、もうガードカラムの交換やカラムのトリミングは必要ありません。15 メートルのカラムは切らずに 15 メートルのまま使用でき、リテンションタイムがずれる心配もありません。

Agilent Intuvo 9000 GC、Agilent 5977B および
7693 オートサンプラ

質量分析計にも最適なガスクロマトグラフ

Intuvo では、これまでの操作上の煩わしさが軽減され、ワークフロー、効率、成果を大きく改善することができます。

- モジュール型のフローチップにより、質量分析計の操作を簡単に最適化できます。
- Intuvo は質量分析計との接続を考慮して設計されました。ガードチップおよびバックフラッシュ機能とリークフリーな操作で、MS の測定感度を最大限に高めることができます。
- カラム交換はわずか 2 分足らずで完了。音と感触で正しく接続されたことが確認できます。
- Intuvo カラムおよびフローチップに搭載されたスマートキーにより、流路構成を自動的に検出し、使用状況をモニタリングできます。メソッド開発の自動化にも役立ちます。
- 消費電力が少ないため、光熱費を削減できます。また、分析中の熱の放出が大幅に低減されるため、空調システムの負担も軽減されます。

実績ある GC カラムを Intuvo に合わせて再構成し、卓越したクロマトグラフィー性能とさらなる信頼性を実現します。

Intuvo ガードチップはすばやく交換できます。面倒なカラムのトリミングは過去のものになります。

Agilent CrossLab

From Insight to Outcome

Agilent CrossLab サービスにより、ラボにシームレスなワークフローを実現し、生産性を高めることができます。

Intuvo の生産性

業界最高レベルの Agilent GC サンプル導入システムにより、Intuvo の優れた生産性はさらに確かなものになります。

最大限の性能

あらゆる GC 検出器やシングル/トリプル四重極質量分析計で最大限の性能が実現されます。

直観的なタッチスクリーンインタフェース

機器の重要なステータス情報にリアルタイムにアクセスできます。

ダイレクトヒーティング

オーブンをなくすことで半分の設置面積となり、分析時間を短縮して生産性を高めます。

Agilent OpenLab

高度なソフトウェアによるコントロール

Intuvo はまったく新しい GC システムですが、新たなトレーニングは不要です。使い慣れたアジレントの OpenLab CDS および MassHunter をそのまま使用できます。

インテリジェント、直感的、革新的。それが Intuvo。

現代の GC ラボは、目の前にある問題を効率よく短時間で解決しなければならないというプレッシャーに常にさらされています。分析困難なサンプルマトリックスの取り扱い、重要なデータの完全性の確保、分析者の技術向上など、課題への対応次第では時間およびリソースの大きな浪費につながりかねません。

Intuvo は、こうした課題を今までになかった考え方やアプローチで解決し、ラボ運営にかかわるすべての方に大きな利点をもたらします。

多様なアプリケーション

- **環境**
- **食品**
- **石油化学**
- **法医学**
- **医薬品**

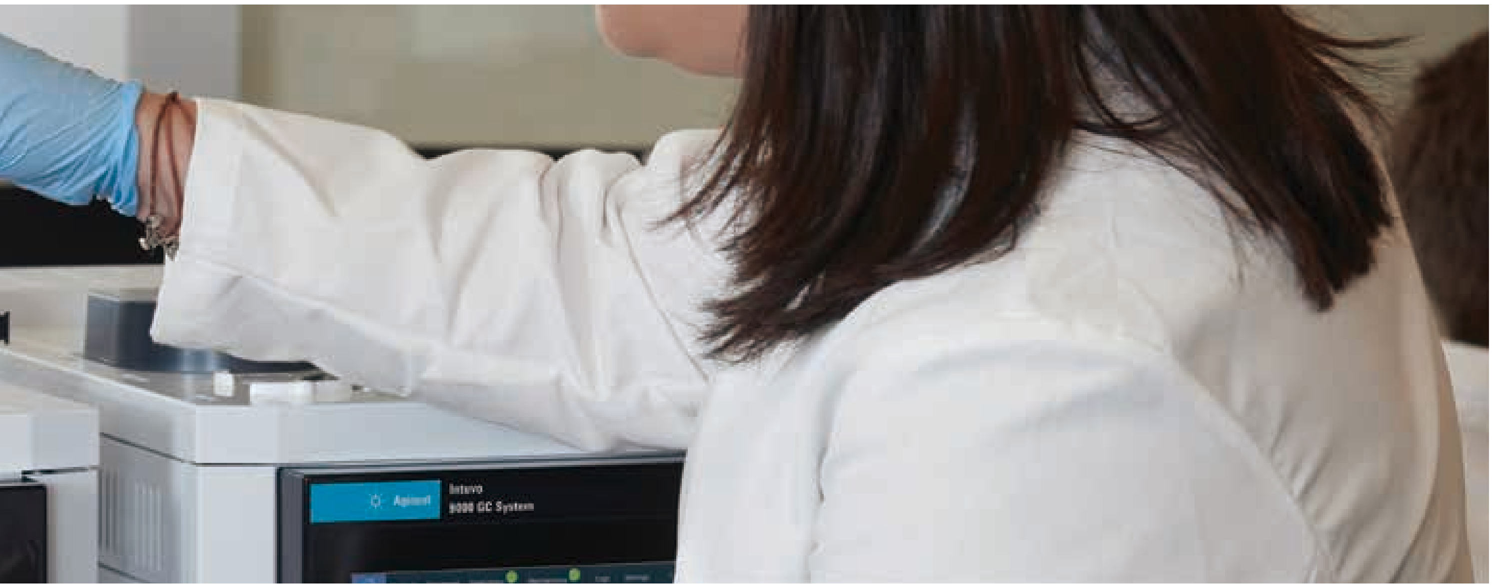
ラボ技術者：

簡単で効率よいトラブルシューティングを実現

一般に、現代のラボでは、GC は技術者にとって責任を負う多くの業務の 1 つに過ぎず、GC の学習に時間を割くのは容易ではありません。突発的な予測外のダウンタイムを防ぐのは特に困難で、機器の動作や履歴に関する深い知識がしばしば必要となります。

Intuvo なら、手探りでのトラブルシューティングに終わりを告げることができます。Intuvo は、機器の重要なタッチポイントを自動的に認識し、高度なステータスレポート機能でそれを知らせます。これにより、ユーザーの経験や習熟度に関わらず、簡単な手順で機器を最高の状態で動作させ、維持することができます。

専門家レベルの結果を得るために、専門家レベルのトレーニングは必要ありません。それを可能にするのが Intuvo です。



ラボマネージャ：

ラボの生産性向上を実現

現代の分析ラボのマネージャは、技術者の確保、ワークフローの変化、高まり続ける生産性目標といった課題に、ますます縮小される予算で対処しなければなりません。このような状況で新たな技術を導入する場合には、変更による影響を最小限に抑えれば悪影響も最小限で済むという理由だけで、本能的に影響が最も小さいものを選びがちです。

これでは望む成果は得られません。Intuvo なら、変化に対する懸念は不要です。Intuvo には、まさに不可能を可能に変える革新技術が多数搭載されています。これにより、プロセスを簡素化し、現状のリソースで期待する高品質の分析結果を得ることができます。フェラルフリーのクイック接続やトリミング不要カラムから、カラムを保護するガードチップおよびスマート ID キーまで、さまざまな新技術を搭載した Intuvo なら、より多くのサンプルをより簡単に分析し、必要なデータ品質を実現できます。

経営者:

期待以上の ROI を実現

Intuvo は、投資からより大きな価値を生み出すだけでなく、ビジネスプロセスの革新をも可能にします。Intuvo が提供する真の変革をもたらす技術革新は、最終的な収益にも成果をもたらすことができます。

Intuvo により、経営者は「革新による収益」という強力な尺度を新たに手にすることになります。Intuvo ではさまざまな技術革新により、新たなメリット、コスト削減、効率化を GC ラボ業務に提供できるため、経営者は、収益性を最大限にまで高め、コストを最小限に抑えるための明確なビジョンを描くことができます。

新たな発想により、Intuvo は従来の思考では得られないビジネス機会を切り開きます。

分析ラボを総合的にサポート

アジレントが 50 年以上にわたって先導してきた分析技術と手法は、現在のガスクロマトグラフィーの基盤を作ってきました。今後も歩みを止めることなく、ガスクロマトグラフィーの可能性を広げています。

アジレントは、業界最高レベルの GC および GC/MS 機器、アナライザ、検出器に加え、ルーチン分析からきわめて複雑な分析まで、あらゆるアプリケーションで成果を生み出す消耗品、ワークフローソリューション、ソフトウェア、さらには充実したサポートサービスを提供しています。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カストマコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、
医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。
本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに
変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2019

Printed in Japan, January 7, 2019
5991-7273JAJP

Agilent
Trusted Answers